

国際関係コース履修系統図

| モテル       | 目標  | 1年次   |   | 2年次   |   | 3年次   |  | 4年次    |   |
|-----------|---|---|---|---|---|---|--|--------|---|
|           |   | 1セメスター  | 2セメスター  | 3セメスター  | 4セメスター                                      | 5セメスター  | 6セメスター   | 7セメスター | 8セメスター  |
| 共通教育科目    | 全モデル共通<br>幅広い教養及び国際感覚を修得することができる。<br>日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力を修得することができる。 | 情報リテラシーA<br>キャリア開発A<br>基礎体育A<br>文章表現入門  | 情報リテラシーB<br>キャリア開発B<br>基礎体育B  | ビジネスリテラシー<br>英語会話   | 人権の諸問題<br>多文化共生論                            |   |  |        |   |
|           |   | <全モデル> 東洋史、西洋史、政治学、経済学、平和学、環境論、倫理学、地理学、地域文化論、東アジア学入門、東アジア近現代史、<br><国際公共> 現代社会と教育<br><国際ビジネス> 統計学Ⅰ<br>一般外国語コース(聴覚英語、英語表現、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、ロシア語)<br>英語圏留学コース(適宜3年次も)  |   |   |   |   |  |        |   |
|           |   | 大学演習A   | 大学演習B   | キャリアデザイン演習A   | キャリアデザイン演習B                                 | キャリア演習A   | キャリア演習B  |        |   |
| 専門教育科目    | 国際公共<br>国際ビジネス  | 法学基礎<br>財産法入門<br>世界の政治  | 日本の政治<br>憲法概論<br>経済学入門  | 政治過程論Ⅰ 国際政治学Ⅰ<br>中国政治論 国際法概論<br>アメリカ政治論 NPO・NGO論  | 政治過程論Ⅱ 国際政治学Ⅱ<br>国際法各論Ⅰ<br>現代東アジアの国際関係      | 政治学原論 国際法各論Ⅱ<br>行政学Ⅱ 政治制度論Ⅰ<br>比較政治学Ⅰ 日本政治史Ⅰ<br>Politics and Law in Japan I<br>World Issues in English I<br>労働契約法<br>グローバル化と企業の社会的責任(CSR)論                  | 国際機構論 政治制度論Ⅱ<br>比較政治学Ⅱ ヨーロッパ政治論<br>国際政治思想 日本政治史Ⅱ<br>グローバルルールと国際社会<br>Politics and Law in Japan II<br>World Issues in English II<br>労働基準法 |        |   |
|           |   | <国際ビジネス><br>民法総則概論  |   | <国際公共><br>憲法学Ⅰ 国際関係史Ⅰ<br>21世紀諸外国の議会と行政<br>公務員のための行政<br>物権法概論  | <国際公共><br>国際関係史Ⅱ<br>行政学Ⅰ<br>ヨーロッパ政治論        | 国際法各論Ⅱ 政治制度論Ⅱ<br>労働契約法 ビジネス法務<br>会社法概論<br>Politics and Law in Japan I<br>World Issues in English I<br>グローバル化と企業の社会的責任(CSR)論                                 | 政治制度論Ⅱ 国際政治思想<br>グローバルルールと国際社会<br>民事裁判と法 労使関係法<br>国際平和学<br>Politics and Law in Japan II<br>World Issues in English II                    |        |   |
|           |   |   |   | <国際ビジネス><br>契約と賠償   | <国際ビジネス><br>労働基準法<br>債権法概論                  |   |  |        |   |
| 経済学関連科目   | 法学・政治学の関連分野として、経済理論、経済政策、経営理論、経営学、会計学等の知識を修得する。                         |   |   | <全モデル> アメリカ経済論、アジア経済論、発展途上国経済論、Practical Business EnglishⅠ・Ⅱ・Ⅲ、                                       |   | 世界経済論、経済史Ⅰ・Ⅱ、日本経済史Ⅰ・Ⅱ、中国経済事情、韓国経済事情、国際経営概論、国際ビジネス論、国際観光論、環境経済学(理論)、環境経済学(政策)、Global Business Communication, Japanese Economy, Economic Issues in EnglishⅠ・Ⅱ |  |        |   |
| Sコース・資格講座 |   |   | <国際公共> TOEIC講座、国家一般・地方上級講座<br><国際ビジネス> 宅建講座、ビジネス実務法務検定講座、<br><国際公共> 英検2級、TOEIC(450点以上)<br><国際ビジネス> 宅地建物取引士、FP3級、2級、 |   | FP技術士講座、ビジネス会計3級、リテールマーケティング(販売士)講座、TOEIC講座 |   |  |        |   |
| 資格        |   | 法学検定(12月第1日曜日)  |   |   |   |   |  |        |   |
| 学修目標      |   | ・法学・政治学分野の幅広い基礎的知識を修得する。<br>・読み書きスキルを向上させ、分析しまとめ上げる。グループワークプレゼンテーション力といった基本的な汎用能力を身につけるトレーニングを行う。<br>・外国語力を伸ばす。<br>・興味・関心に応じて、人文・社会・自然等の教養分野の知識を広げる。<br>・キャリアに関する意識を持つ。<br>・興味・関心・将来の進路希望に適したコース、演習を選択するために、コース、演習内容について理解する。 |   | ・法学・政治学の専門的知識を拡充させる。<br>・実践的・能動的な取り組みを通して、基本的な汎用力のさらなる向上に努める。さらに、課題を発見する能力を向上させる。<br>・キャリアに関する意識を高める。 |   | ・法学・政治学の専門的知識を深め、体系的に理解する。<br>・実践的・能動的な取り組みをさらに重ねて、課題解決を考える能力を向上させる。<br>・キャリアに関する意識を具体化し、行動する。<br>・インターンシップに取り組む。   |  |        | ・法学・政治学の専門的知識を発展させるとともに、他者と協調・協働して課題解決を考える能力を修得する。<br>・社会人としての心得を修得する。<br>・道徳に関連する専門知識を拡充する。<br>・法学部副論文の執筆を目指す。 |

法学部 履修規則  
1) 2019年度入学生適用